

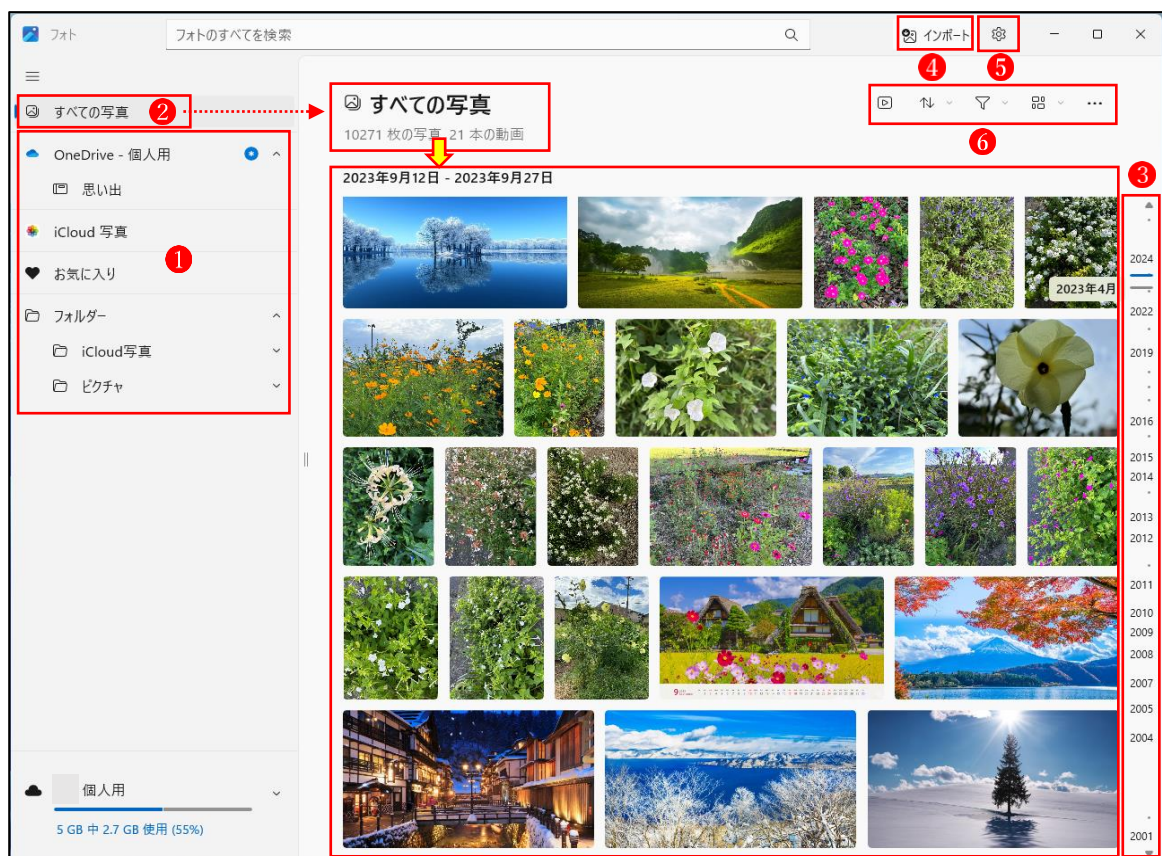
新「フォト」の使い方

「フォト」は、Windows11 に標準搭載されているマイクロソフト社の写真や動画の閲覧・管理編集アプリで、Windows を利用している人なら誰でも利用することができます。2022 年に従来のフォトからバージョンアップした新「フォト」になりました。

「フォト」は、パソコン内のあちこちのフォルダーに保存されている画像を総合的に管理し、検索して表示するほかに、簡単なレタッチ処理なども行うことができるアプリです。

1 「フォト」のメイン画面

フォトを起動すると、「PC」の「ピクチャ」フォルダーと OneDrive の「画像」フォルダー（※iCloud を登録している場合は「iCloud 写真」フォルダーも含む。）**①**に保存されている画像が自動的に読み込まれ、「すべての写真」タブ**②**に表示されます。



上の画面は、「フォト」のメイン画面で、読み込まれた写真が時系列**③**で表示され、スクロールすると年月を移動する仕組みになっています。

【その他の項目】

- ④** 「インポート」 ボタン
- ⑤** 「設定」 ボタン
- ⑥** 「画像表示」 ツール

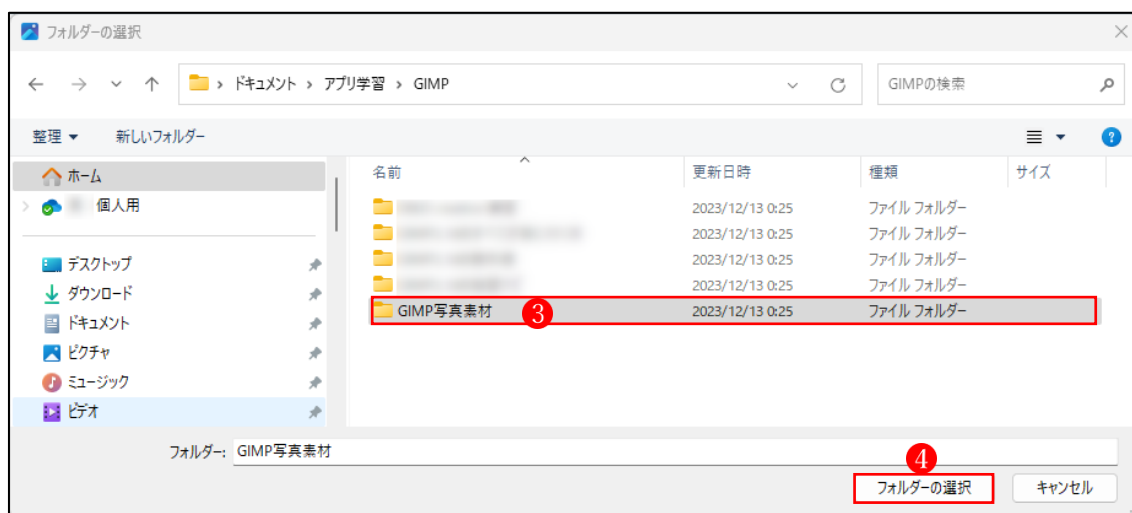
2 フォルダの登録

「ピクチャ」フォルダと「One Drive」フォルダ以外のフォルダに保存されている写真を読み込むには、あらかじめそのフォルダを登録しておく必要があります。

- ① 左サイドにある「フォルダ」タブ①をクリックします。
- ② 「フォルダ」画面で、「フォルダを追加する」②をクリックします。

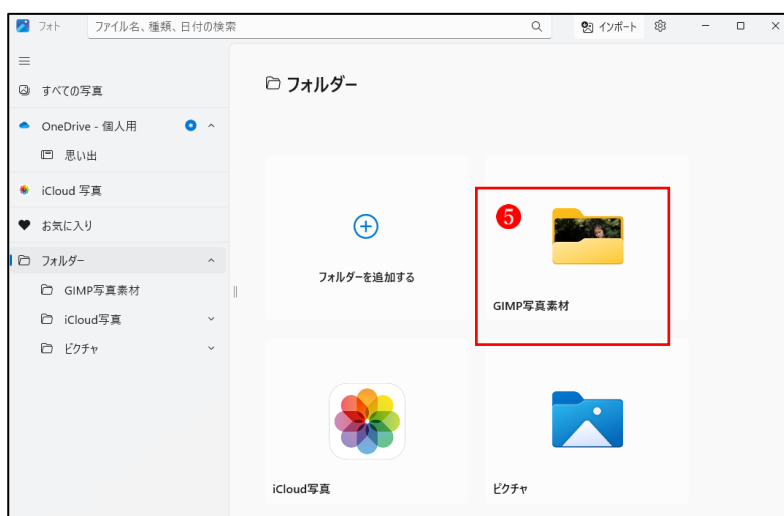


- ③ 「フォルダの選択」画面になるので、画像が保存されているフォルダ③を選択し、「フォルダの選択」④をクリックします。



- ④ 選択したフォルダが追加されました⑤。

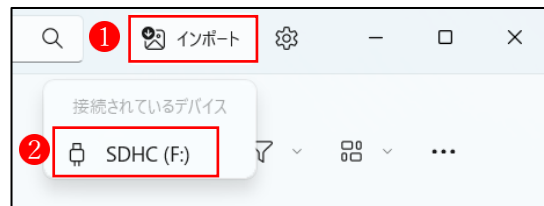
★ 追加されたフォルダは、パソコンを再起動しないと表示されないため、何もメッセージが表示されなくても再起動します。



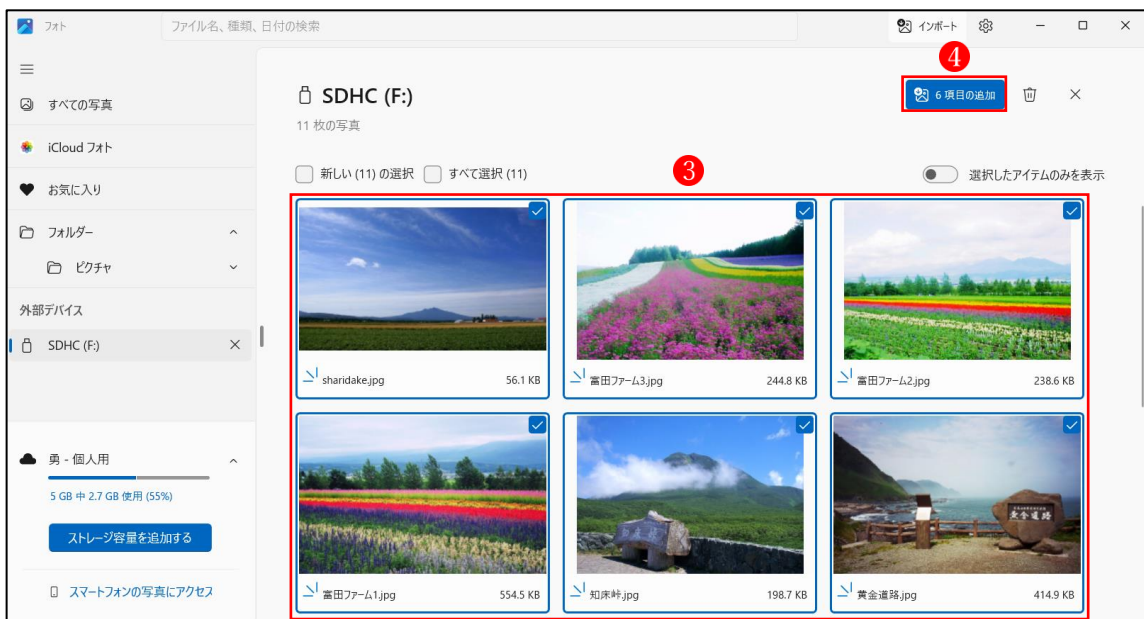
3 デジタルカメラやスマホ、USB メモリなどから写真を取り込む

① デジタルカメラやスマホとパソコンを USB ケーブルで接続するか、USB メモリなどをメモリスロットに挿入します。

② 「フォト」の画面右上の「インポート」^①をクリックし、続いて、接続されているデバイス^②をクリックします。



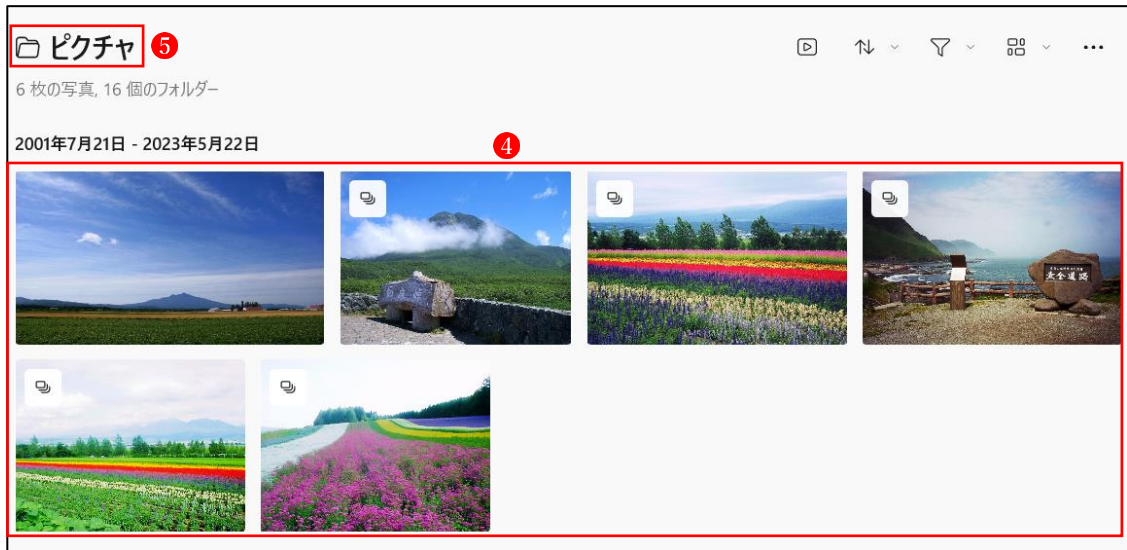
③ 接続したデバイスに含まれている画像の一覧が表示されます。続いて、パソコンに取り込みたい画像（複数選択可）にチェックを入れ^③、「〇〇項目の追加」^④をクリックします。



④ 保存先のフォルダーを選択します。ここでは、そのまま「ピクチャ」フォルダー^①を指定します。なお、「フォルダーの作成」^②で新しいフォルダーを作成してそこに保存することもできます。最後に「インポート」^③をクリックします。



- ⑤ 「インポートが完了しました」というメッセージが表示され、フォトの画面内に画像が表示されます④。(※画像ファイルは、「ピクチャ」フォルダー⑤に保存されます。)

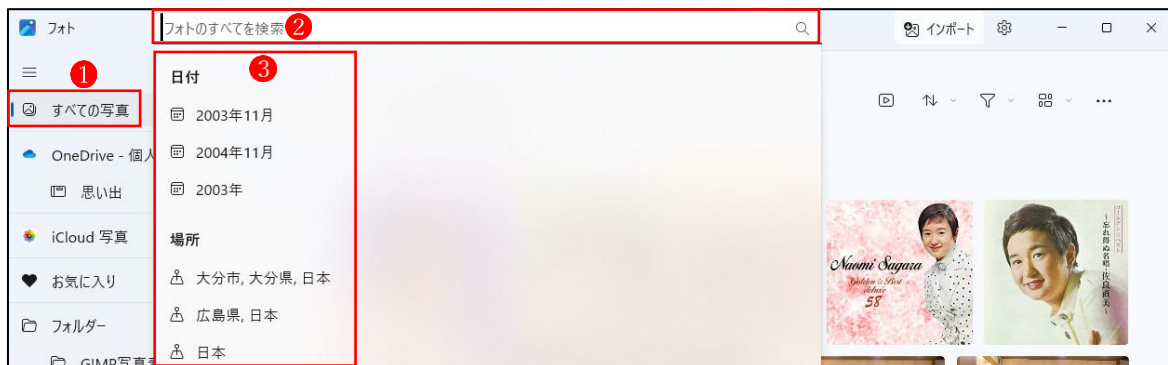


4 写真の閲覧

(1) 検索機能を使って閲覧する

アプリの上部にある検索窓を利用すると、簡単に写真を検索して表示することができます。

- ① 検索したいフォルダーを選択します(※ここでは、「すべての写真」①)。
- ② 「検索窓」②にカーソルを立てます。→検索窓の直下に、「日付」と「場所」の候補が表示されます③。→検索候補に希望に合致するものがあれば、その項目をクリックします。→検索結果が表示されます。
- ③ 上記②の候補に希望に合致するものがない場合は、検索窓に検索のキーワードを入力します。→検索候補が表示されます。→検索候補に希望に合致するものがあれば、その項目をクリックします。→検索結果が表示されます。
- ④ 上記③でも適当な候補が表示されない場合は、検索キーワードを入力して、Enter キーを押します。→検索結果が表示されます。



(2) 「画像表示」 ツールを使って閲覧する



① 「スライドショーの開始」①

・画像フォルダーを選んで写真を表示した状態で「スライドショーの開始」 ボタンをクリックすると、表示されている写真が順にスライドショーで表示されます。

※写真 1 枚につき約 3 秒程度で切り替わり、切替効果も付いています。また、「繰り返し」や「一時停止」などの操作も行うことができます①。

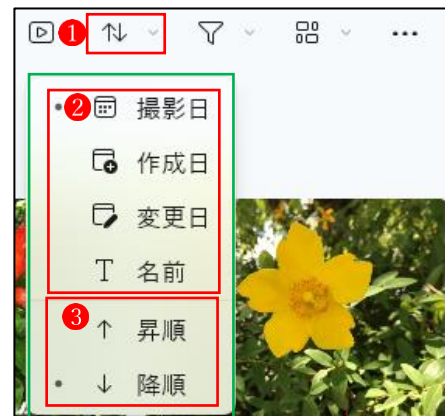


・スライドショーを終了するには、画面左上に表示されている「<スライドショーの終了」②の文字をクリックします。

② 「並べ替え」②

・「並べ替え」を①クリックすると、並べ替えの選択肢が表示されます。

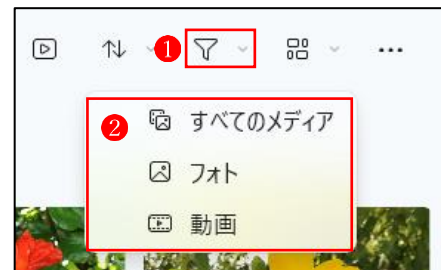
・「撮影日」等の第 1 グループ②で項目を選択した後、第 2 グループ で「③順」または「降順」を選択します。



③ 「フィルター」③

・「フィルター」①をクリックすると、「すべてのメディア」・「フォト」・「動画」の 3 つの選択肢が表示されます。②

・いずれかの項目をクリックします。



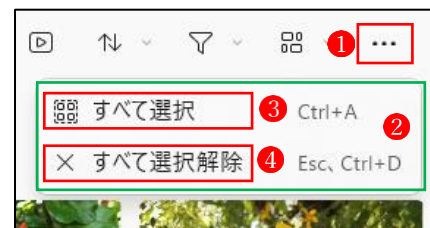
④ 「ギャラリーの種類とサイズ」④

- ・「ギャラリーの種類とサイズ」①をクリックすると、2段階の選択肢が表示されます。
- ・まず「ギャラリーの種類」で「リバー」が「正方形」を選択し②、第2段階で「サイズ」を選択します③。



⑤ 「もっと見る」⑤

- ・「もっと見る」①をクリックすると、「すべて選択」するか「すべて選択解除」の2段階の選択肢が表示されます②。
- ・「すべて選択」③をクリックすると、表示されているすべての写真が選択されて状態になります。逆に「すべて選択解除」④をクリックすると、選択状態の写真のすべてが選択解除されます。
- ・「すべて選択」③をクリックすると、表示されているすべての写真が選択状態になり④、4種類の操作の選択肢が表示されます。

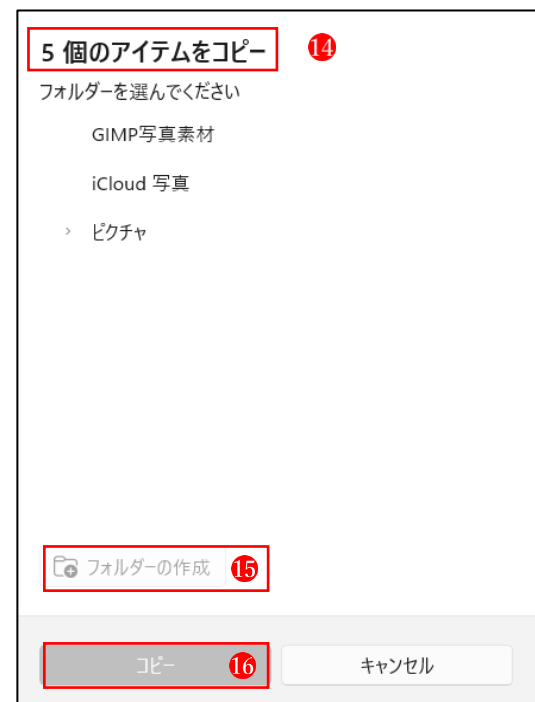


- ・「×〇個を選択済み」⑤をクリックすると、選択状態が解除されます。
- ・「削除」ボタン⑥をクリックすると選択されている写真が削除されます。
- ・「OneDriveにバックアップ」⑦をクリックすると、OneDrive上の保存先のフォルダーを選択する操作に誘導されます。
- ・「移動/コピー」⑧をクリックすると、「フォルダーへ移動」⑨か「フォルダーにコピー」⑩を選択できます。

- ・「フォルダーへ移動」**9**をクリックすると、写真の移動先を指定する画面**11**になります。移動先のフォルダーを指定します。この時、「フォルダーの作成」ボタン**12**をクリックして新たにフォルダーを作成することもできます。最後に「移動」ボタン**13**をクリックすれば移動が完了します。



- ・「フォルダーへ移動」**10**をクリックすると、写真のコピー先を指定する画面**14**になります。コピー先のフォルダーを指定します。この時、「フォルダーの作成」ボタン**15**をクリックして新たにフォルダーを作成することもできます。最後に「コピー」ボタン**16**をクリックすれば移動が完了します。



5 画像（写真）編集

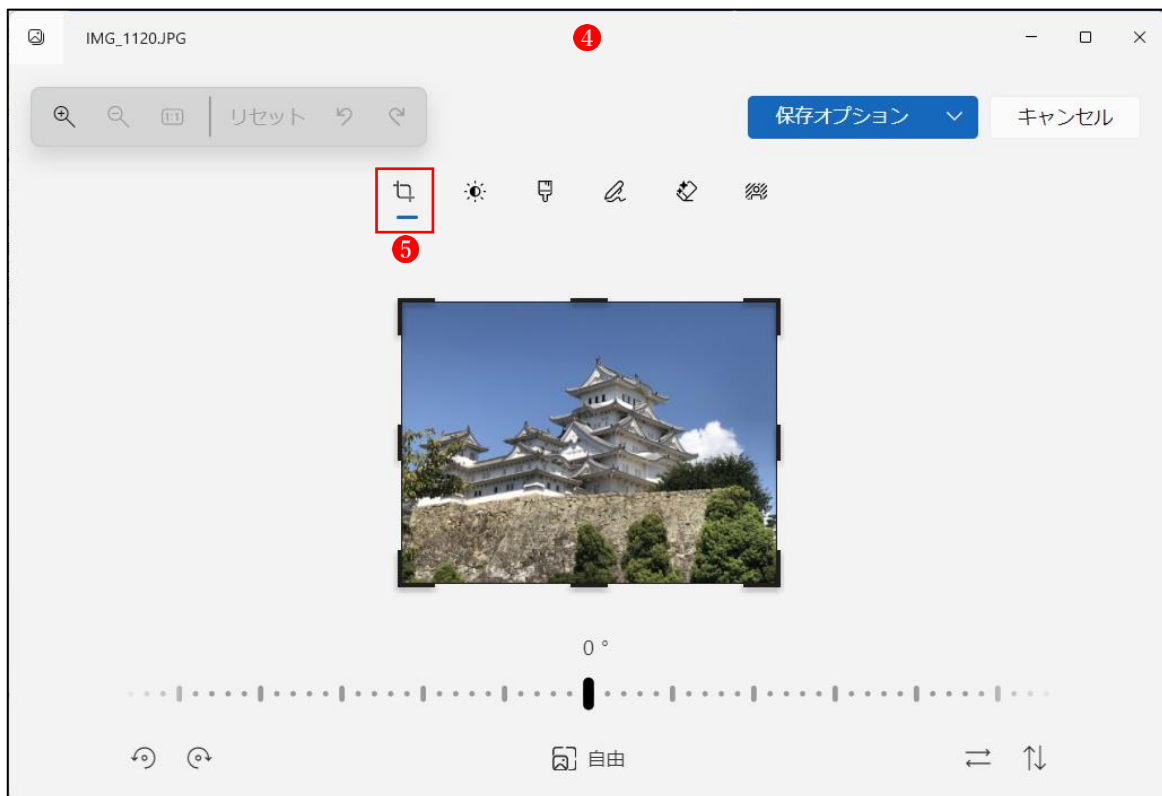
画像の編集機能^②を使うには、フォトのメイン画面に写^③が表示されている状態で、編集したい写真を1枚だけクリックして選択^①します。すると、新たに「編集」ボタン^②が表示されます。この編集ボタン^②をクリックすると、写真の編集画面^④が開きます。



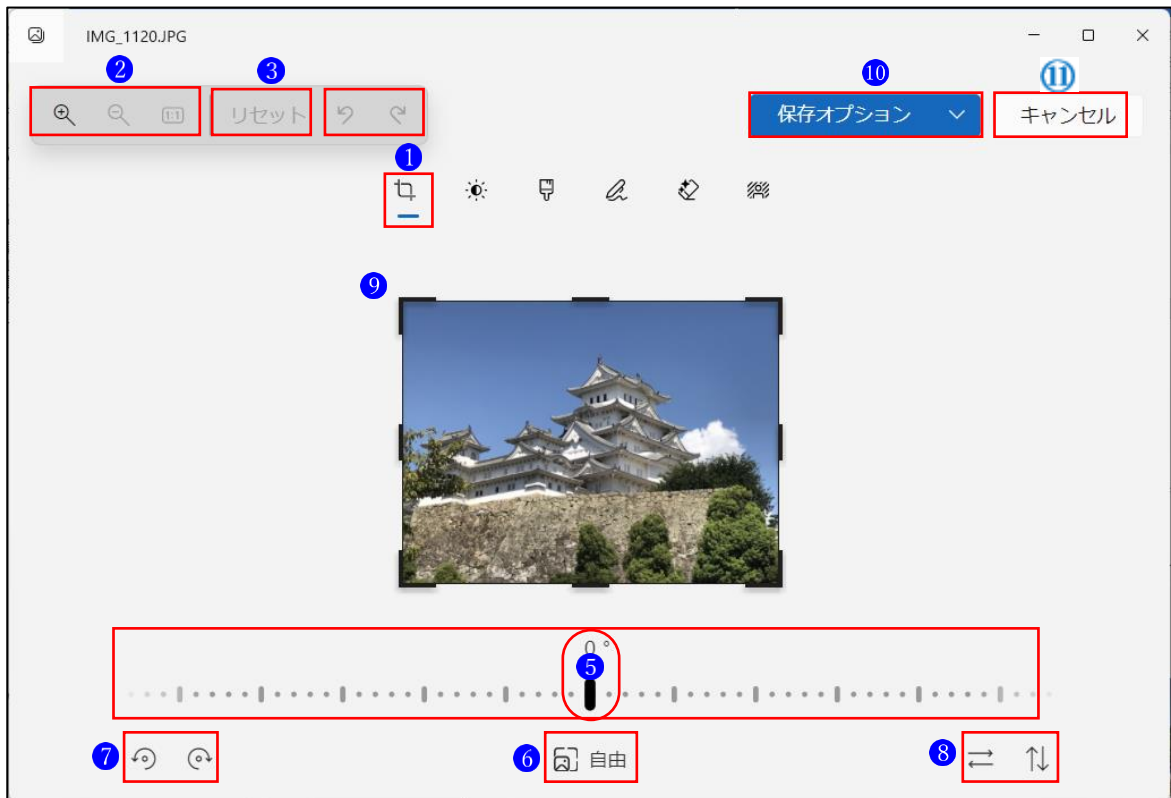
なお、写真の編集画面は、写真を一度開いてから、上部に表示される「編集」ボタン^③をクリックしても開くことができます。



【画像の編集画面】^④ ★編集機能の「トリミングする」^⑤が自動的に選択されています。



(1) トリミングする



- ① 「トリミングする」機能のアイコンです。
- ② 画像の拡大や縮小ができます。
- ③ 「画像で実行したすべての編集をリセット」します。
- ④ 「元に戻す」① 「やり直す」②

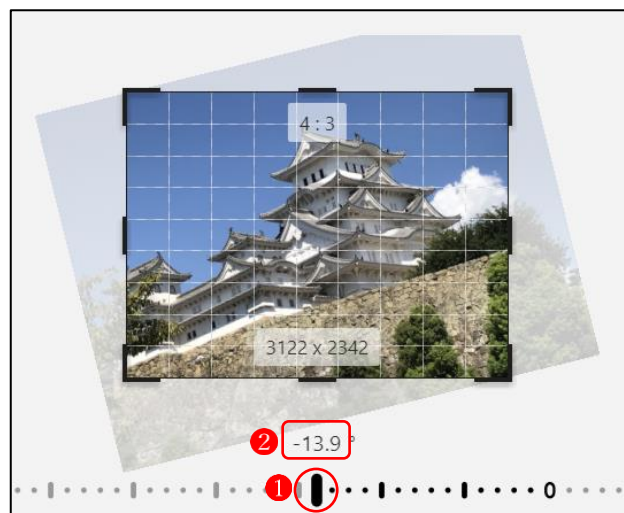


- ① 画像を拡大 ② 画像を縮小 ③ 実際のサイズ

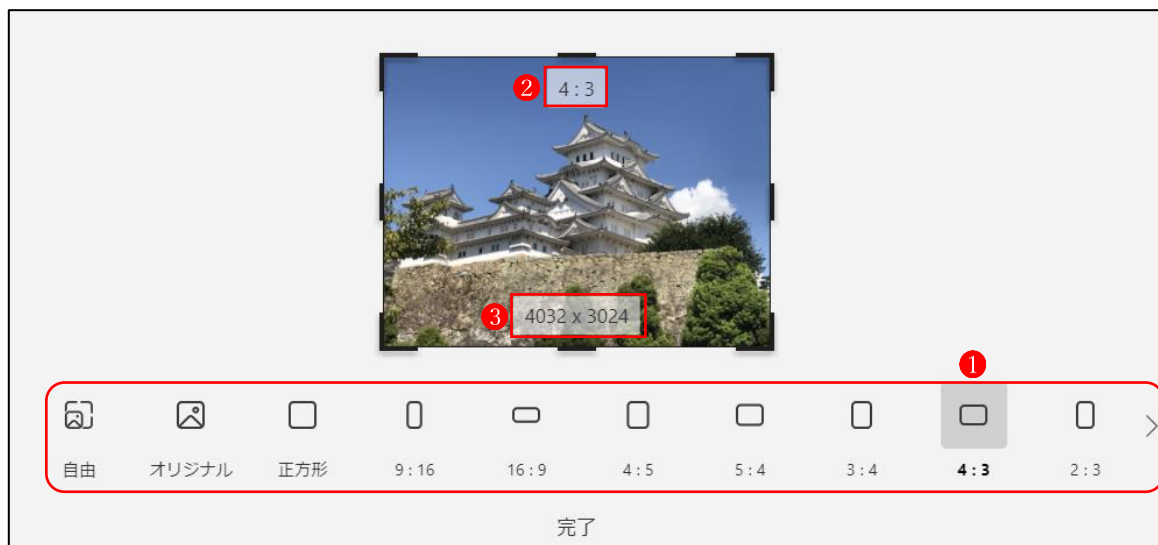


- ⑤ 「ドラッグするか、方向キーを使用して画像を回転」

⑤ のスライダー①を左右にドラッグすることにより画像の角度②を自由に変えられます。



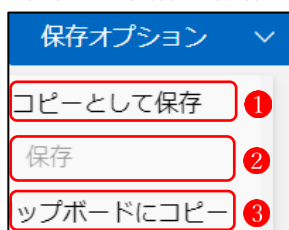
- ⑥ 画像の縦横の比率①を決めてトリミングできます。
 画像の上には、「縦横の比率」②と「画像のサイズ」③が表示されます。



- ⑦ 画像を 90 度回転する
-
- ① 画像を反時計回りに 90 度回転
 ② 画像を時計回りに 90 度回転

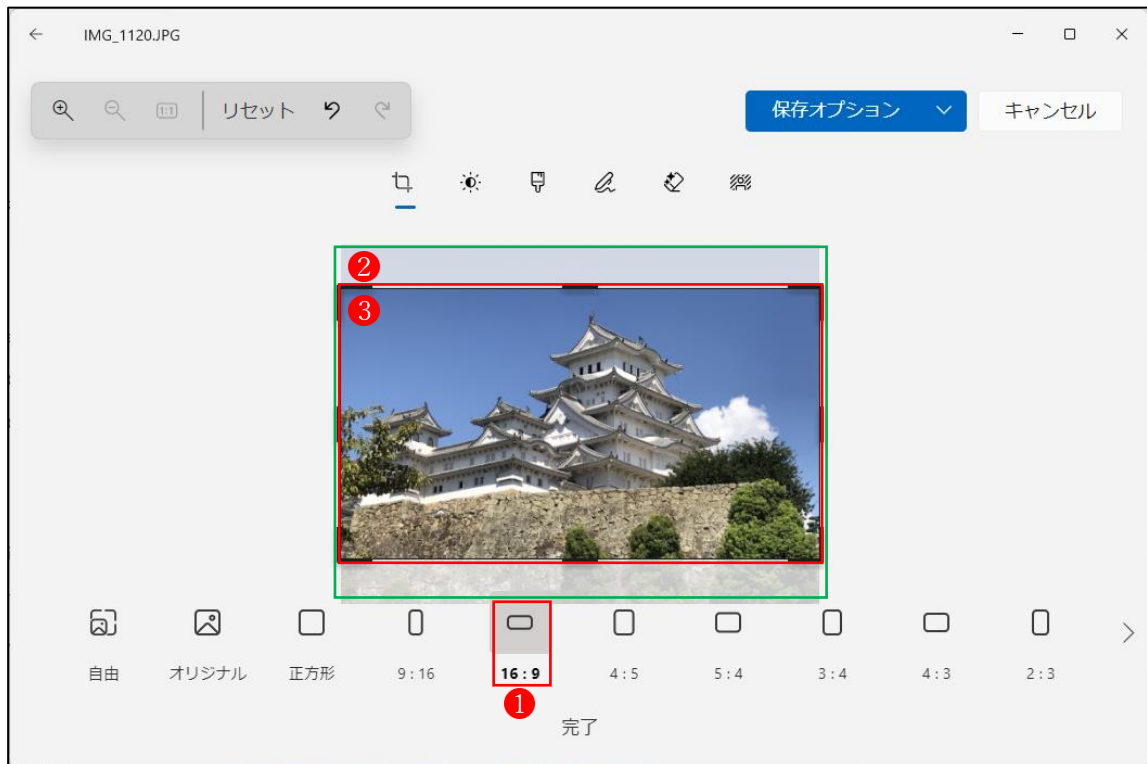
- ⑧ 画像を反転する
-
- ① 画像を水平方向に反転
 ② 画像を垂直方向に反転

- ⑨ 8 個のハンドルをそれぞれドラッグまたは矢印キーを使用して画像をトリミングします。
 ⑩ 編集した画像を保存します。



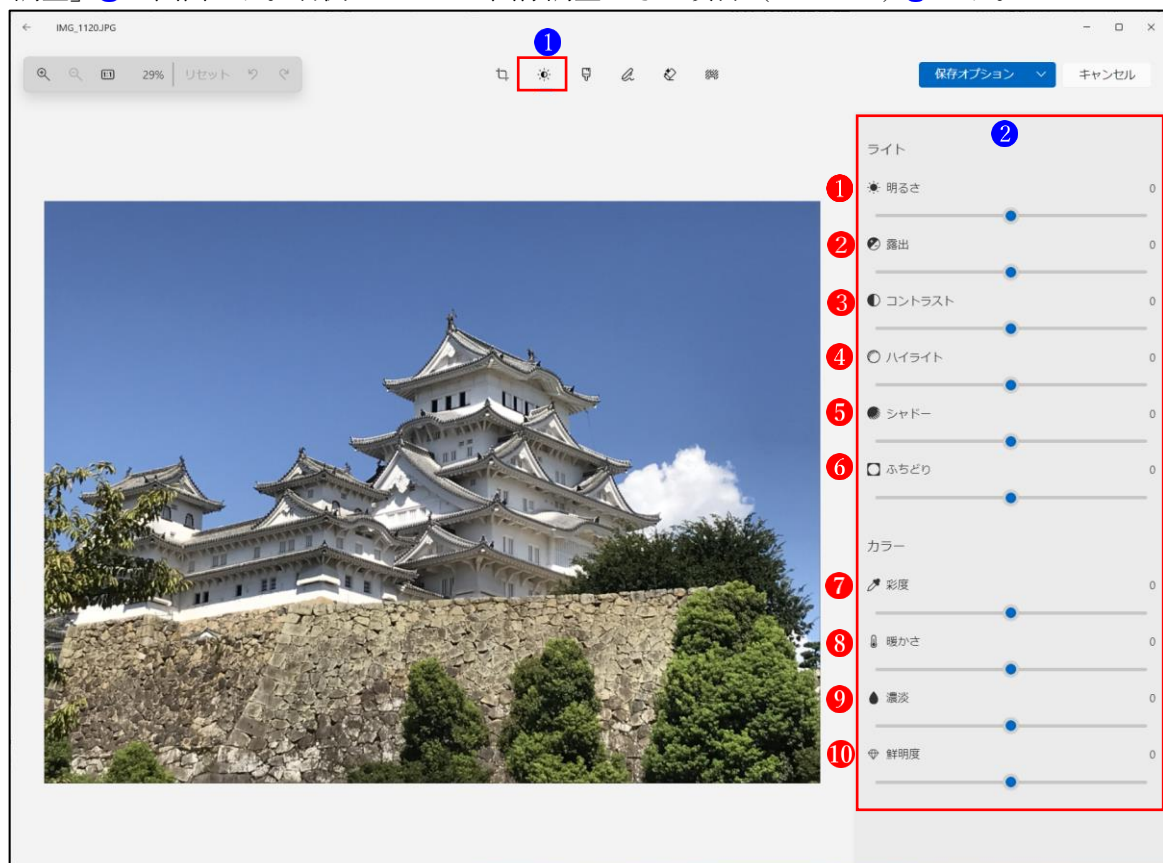
- ① 「コピーとして保存」は、編集した画像を保存先のフォルダーを指定して新たな画像ファイルとして保存します。
 ② 「保存」は、元の画像ファイルを上書き保存します。
 ③ 「クリップボードにコピー」は、画像をクリップボードにコピーして、他の場所に貼り付けることができます。
- ⑪ 「キャンセル」をクリックすると、編集画面から元の画面に戻ります。

- ★ デスクトップの壁紙用に縦横の比率を「16：9」^①でトリミングしてみました。緑の枠線が元の画像^②で、赤の枠線がトリミング後の画像^③になります。



(2) 調整

「調整」^①の画面です。右側にあるのが画像調整できる項目（メニュー）^②です。



【各調整メニューの説明】

① 「明るさ」

明るさを「高」にするとハイライト部分が広がり、「低」にするとシャドー部分が広がります。この機能を使えば、例えば、天気が曇った日に撮った暗めの写真を、晴れた日に撮った写真のように加工することができます。

② 「露出」

「露出」とは、写真をフィルムから印画紙に焼き付けるときに照射する光の量のことです。露出を「高」にすると、色みを残しながら全体的に明るくすることができ、露出を「低」にすると、色みを残しながら全体的に暗くすることができます。

③ 「コントラスト」

「コントラスト」では、画像の「明るい部分」と「暗い部分」の「明るさの差」を調整できます。コントラスト「高」にするとくっきりメリハリが効いた写真になり、コントラストを「低」にするとやわらかく落ち着いた感のある写真になります。

④ 「ハイライト」

「ハイライト」では、写真の中の明るい部分だけを暗くすることができます。「写真全体ではなく、明るい部分だけを暗くしたい」というような場合に便利な機能です。

⑤ 「シャドー」

「シャドー」では、写真の中の暗い部分だけを明るくすることができます。「写真全体ではなく、暗い部分だけを明るくしたい」というような場合に便利な機能です。

⑥ 「ふちどり」

「ふちどり」では、写真の周辺部の光量を調整することができます。ふちどりを「高」にすると、写真の周辺部に黒っぽくふちどりを付けることができ、低」にすると、周辺部を白っぽくふちどりすることができます。

⑦ 「彩度」

「彩度」では、「色の鮮やかさ」を調整できます。彩度を「高」にすると、ビビットな色になり（例えば、緑ははっきりとした緑になる）、再度を「低」にすると、カラーのない白黒に近くなります。

⑧ 「暖かさ（温かさ）」

「温かさ」では、色温度を調整することができます。温かさを「高」にすると色を赤色系へ寄せることができ、「低」にすると青色系へ寄せることができます。

⑨ 「濃淡」

「濃淡」では、色の濃淡を調整することができます。濃淡を「高」にすると色を赤紫色系へ寄せることができ、「低」にすると緑色系へ寄せることができます。

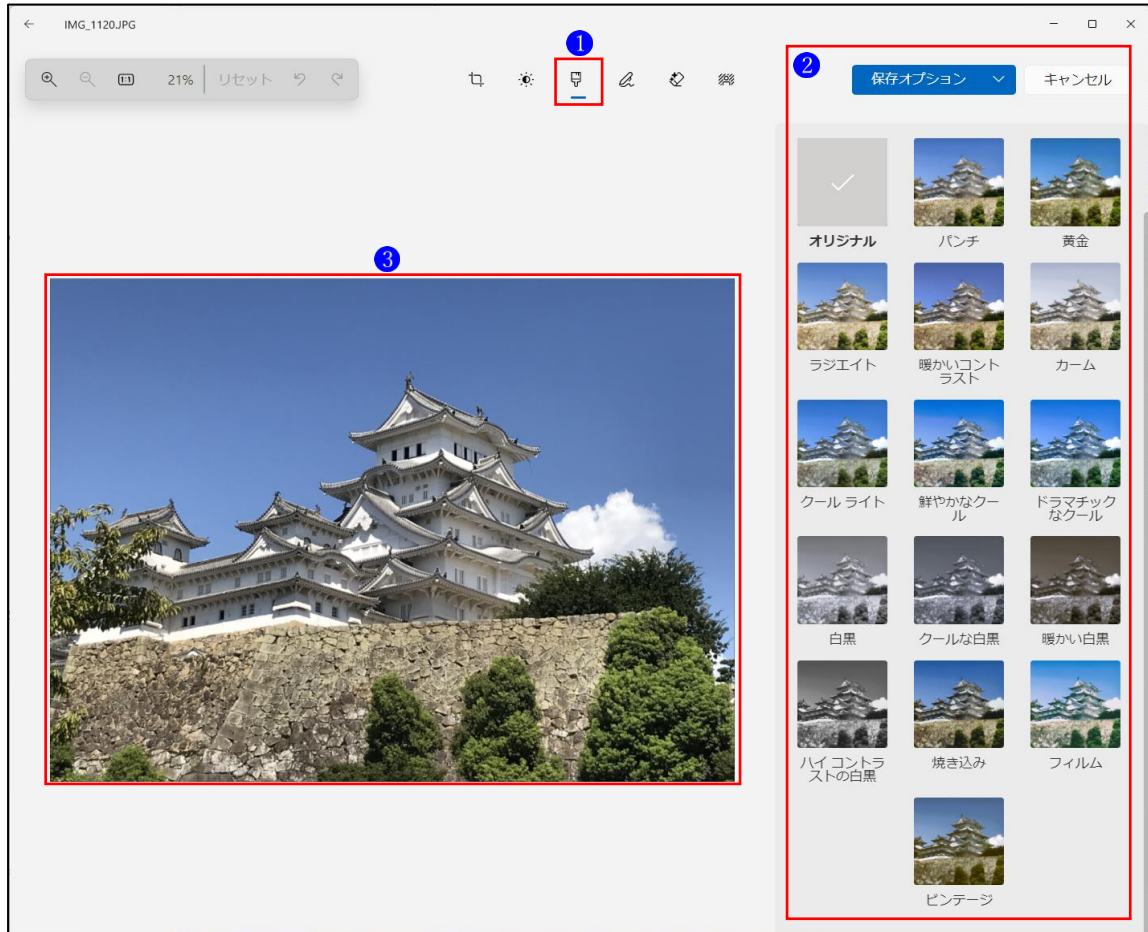
⑩ 「鮮明度」

「鮮明度」では、写真全体のシャープさを調整して、鮮明にしたりぼんやりさせたりすることができます。

(3) フィルター

フィルター機能とは、写真の色合いをモノクロやセピア風などに変更できる機能です。フィルターの種類や強度を設定することで、少ない手順で写真全体の色合いを修正することができます。

- ① 「フィルター」^①の画面です。右側にあるのがフィルターの種類^②です。



- ② いずれかのフィルター種類のサムネイルをクリックすると、中央の画像がそのフィルターを適用した結果に変わります。

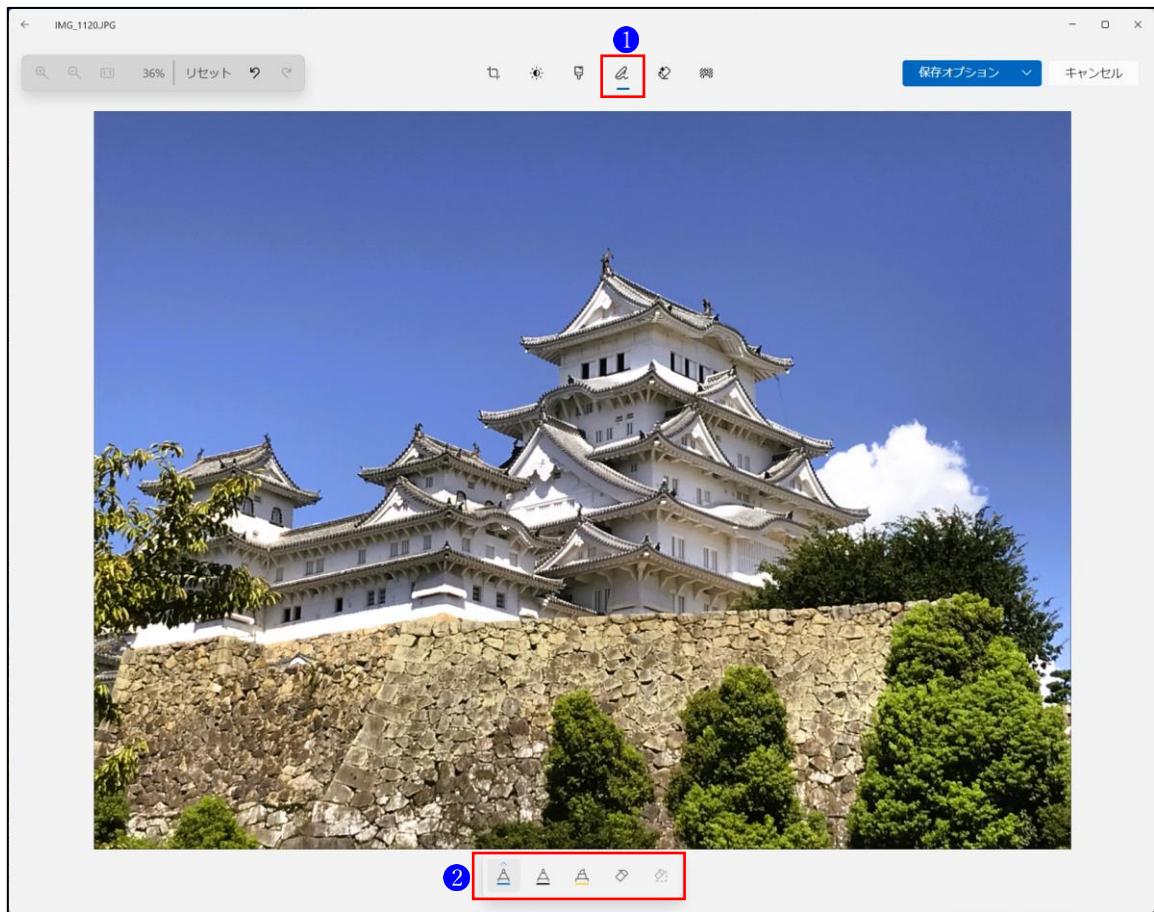
なお、適用したいフィルターのサムネイル^①をクリックすると、直下に、フィルターの強さを調整できるスライダー「強さ(1~100)」^②が現れるので、ここで適用するフィルターの強さを調整することができます。



(4) マークアップ

「マークアップ」では、ペンを使って画像に文字やイラストを自由に追加することができます。

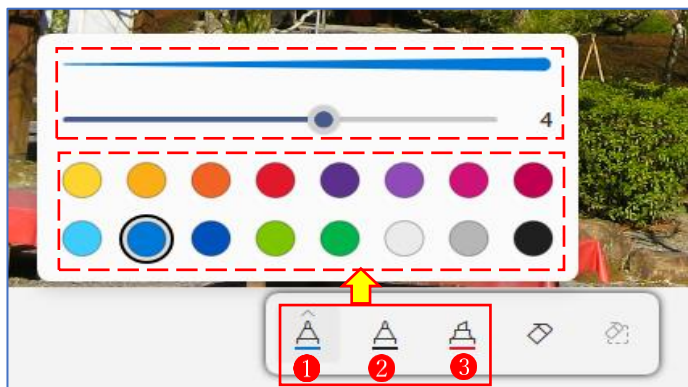
① 「マークアップ」①の画面です。画像の一番下にあるのがマークアップの種類②です。



② ペンを使って、画像に文字やイラストを自由に追加することができます。



「ペン1」①、「ペン2」②、「蛍光ペン」③は、ボタンをクリックすると、色の変更や太さの変更を行うことができます。

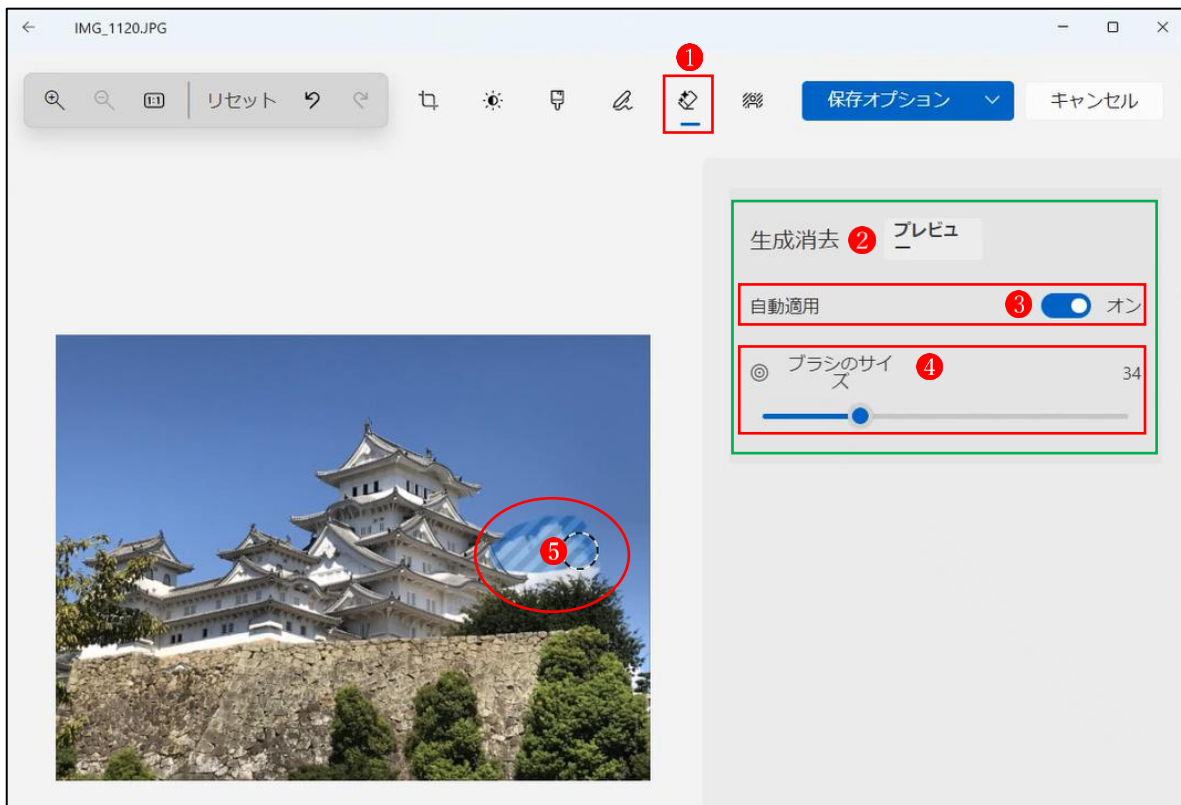


- ③ ペンを使って文字（黄色の点線枠内）を入れてみました。
描いた文字の一部を消すには「消しゴム」④で文字をなぞります。また、文字のすべてを一度に消すには「すべてクリア」⑤をクリックします。



(5) 生成消去 (AI 処理)

画像の中の消したい部分をブラシで大まかになざると、AI が消したい部分の輪郭を自動で判断して消し去り、さらにその消し去った跡を回りの背景で埋めてくれる機能です。

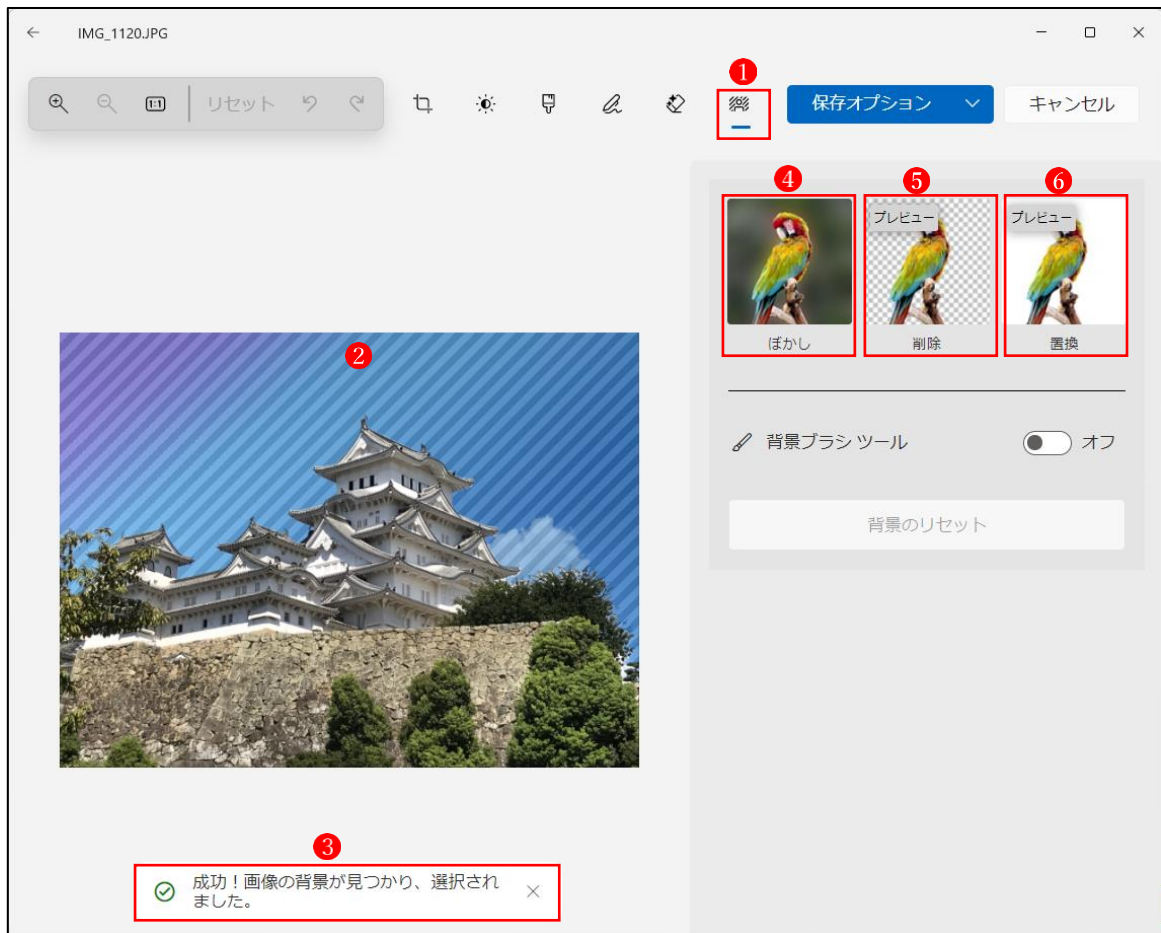


- ① 「生成消去」① のボタンをクリックします。
- ② 「生成消去」の機能が表示されます②。「自動適用」③ をオンにして、「ブラシのサイズ」④ を設定します。
- ③ 画像の消したい部分をブラシで大まかになぞります⑤。
- ④ これで、AI が自動で消したい部分を判断して消し去り、さらにその消し去った跡を回りの背景で埋めてくれます。

★ ただし、今のところ（2024,8,3 現在）は、AI がうまく機能していないようです。今後におけるさらなる精度の向上を期待しましょう。

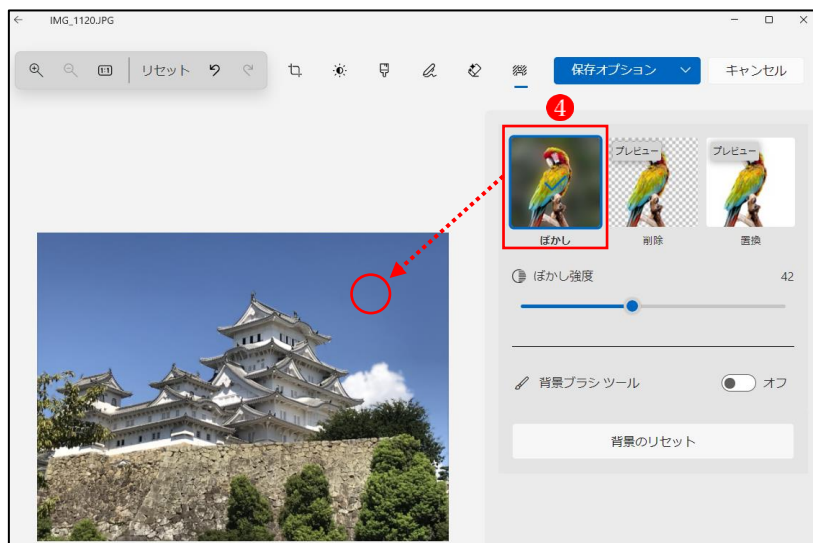
(6) 背景処理 (AI 処理)

「背景処理」^①機能を使うと、写真の背景の輪郭を自動で判別して、背景をぼかしたり、背景を削除したり、背景を別の色に置換することができます。

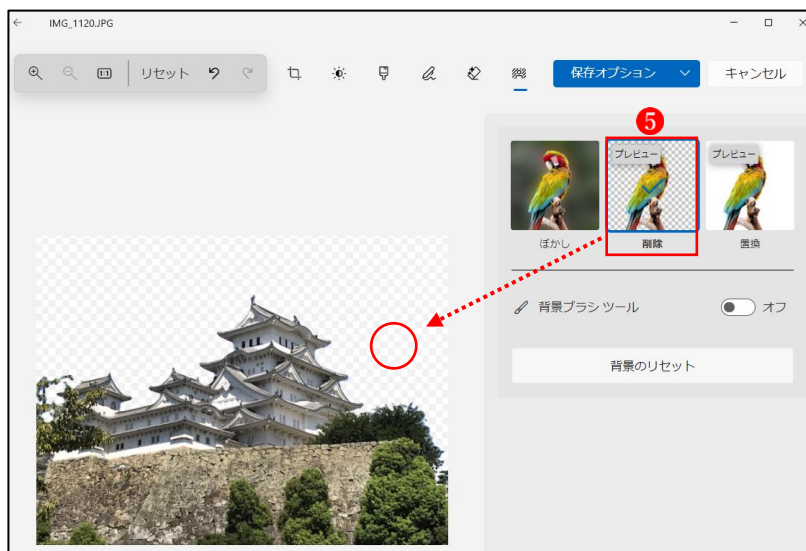


- ① 「背景処理」ボタン^①をクリックします。
- ② AIが写真の背景の輪郭を自動で判別し始めます^②。
- ③ 背景輪郭の自動判別が完了すると、「成功！画像の背景が見つかり、選択されました。」^③のメッセージが表示されます。

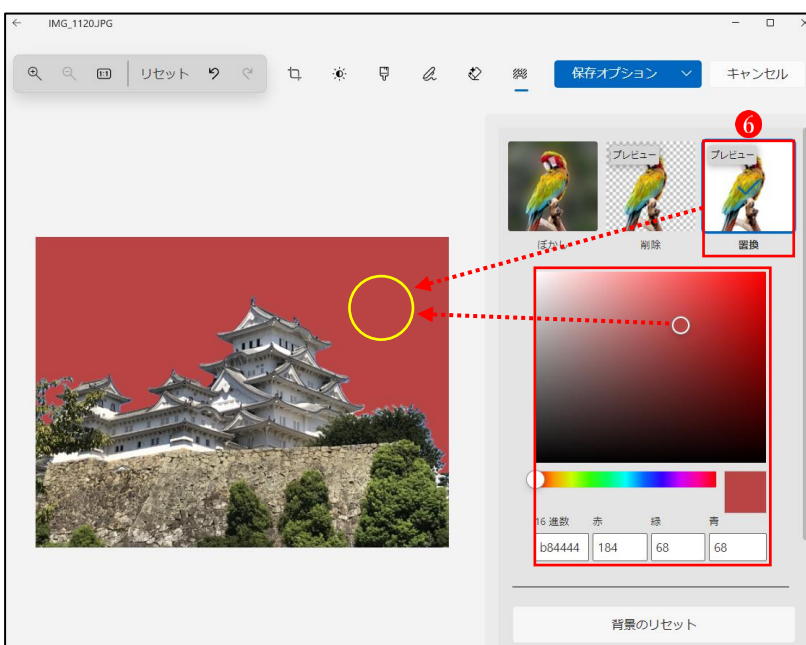
- ④ 「ぼかし」^④をクリックすると、背景が元々あった色で全面にぼかしたように塗りつぶされます。



- ⑤ 「削除」⑤をクリックすると、背景が削除されて透明になります。



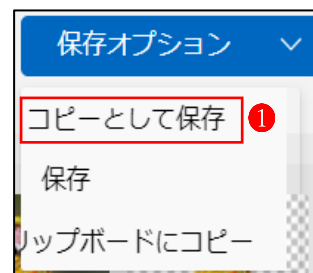
- ⑥ 「置換」⑥をクリックすると、背景に置き換える色を指定する画面が表示されて、色を指定すると、背景がその色で塗りつぶされます。



6 保存オプション

フォトで編集した画像 (写真) は、保存オプションから「コピーして保存」①を選択して、別名で保存しておきましょう。

保存するときのファイル形式は、透明画像の使える PNG 形式にしておきましょう。



7 ファイルサイズの変更

- ① 「…」(もっと見る)① から、「画像のサイズ変更」②をクリックします。



- ② 「サイズ変更」ウィンドウが表示されます。
単位①、幅・高さ②、品質③、ファイルの種類④を設定し、最後に「保存」ボタン⑤をクリックします。

★これでサイズ変更の完了です。

